

## 「南木曾町における水資源に係る具体的な調査の計画」に対する南木曾町からの意見

No.	意見等要旨
1	観測地点について ・観測地点は、断層や破砕帯周辺の影響を把握するための配置となっているか。
2	自然由来金属の調査について ・河川に関しては自然由来金属の調査が行われないとされるが、これは妥当か。
3	調査頻度について ・水質検査、流量観測の回数に関して、JR東海は月1回を原則とし、必要に応じて回数を増やすとしているが、現地の状況に照らし、事後調査として必要かつ十分であるか。
4	観測井について ・モニタリング地点55番は、ボーリング孔を利用した既設の観測井であり、トンネル通過地点直上近くであるが、このような観測井はトンネル周辺への影響を観測する地点としては妥当性はあるのか。 ・また、この既設観測井は数十メートルの深さがあるが、影響を適切に観測するためには、新たに十数メートルの浅い観測井戸も必要ではないか。